



はじまりはいつも 現場(ココ)から。

モノづくりの現場を変える「ひと知恵」ストーリー

編集協力

Thinking future together



数多くのモノづくり現場の課題を現実的かつ客観的に分析し、現場にあった指導・支援を手がけ「品質向上・コスト競争力向上・出来高向上」および「人材育成」を実現してきた株式会社平山のコンサルティング事業部。彼らが培ってきた、明日のモノづくり現場を変えていくための「ひと知恵」を紹介していく。

新工場の建設、増設、改装のポイント

いざ新工場建設を考える段階になった時に、どこから手を付けて良いのか分からず、後々、設計・建設会社の言いなりで事が進み、その結果、建設費用がかさんだ上に、使い勝手の良くない工場が完成してしまい、我慢しながら使っているという話は良く聞かれます。

新工場の“あるべき姿”を具現化/見える化し、関係者間で共有することが重要です。

〈新工場建設(新築/増設/改装)のポイント〉

1. 場所の選定
2. 将来に向けた増設スペース
3. 階層の経済性
4. 主要な工場仕様

環境問題、通路、敷地の標高と工場床面高さ、梁高さ、柱間隔、吊り下げ荷重、床耐荷重、耐震強度、屋根形状、開口部、エレベーター、空圧調整、空調方式、照明、工場色、面積生産性など

〈生産準備のポイント〉

1. 工程/設備計画(加工/組立性評価)
2. ライン/工程レイアウト(TPSの考えに基いた設計)
3. 生産技術開発(工法/治具/型/自動化/ボカヨケ)
4. 工数計画(作業時間/人員)
5. 品質保証計画(QC工程表/FMEA)
6. 作業標準/標準作業整備
7. 構内物流整備(TPSの考えに基づいた設計)

〈生産管理システム(ERP/MES/DX/IoT)のポイント〉

1. リアルタイムで経営判断情報を収集
2. 正確なデータ把握
3. 業務効率向上

4. 現場に負荷の掛からないスマート運用
5. MRPシステムと看板システムの融合
6. 見える化

〈要員確保と生産活動のポイント〉

1. 製造請負
2. 人材派遣
3. 外国人人材
4. フィールドエンジニアリング
5. 継続的改善活動

工場レイアウト例(表①)

新工場の建設、増設、改装の考え方は、個々のケースにより異なる場合がありますが、例えば部品工場の基本としては、材料受入 → 加工 → 出荷の流れをつくり、部品や人が交錯しないよう、また大型トラックは一方通行にして安全が確保できるように配置します。

はじまりはいつも現場(ココ)から

モノづくりの現場を変える「ひと知恵」ストーリー

表①

	部品工場	組み立て工場
工場の事例	プレス、鍛造、切削、樹脂成形、ゴム、アルミダイカストなど	用品組立、家電組立など
ブロックレイアウト		

設備開発で競争力をつける(表②)

工場の立ち上げ時に直面する課題の一つが、設備をどうするか、です。

カタログ設備を並べて生産する方法では競合他社と差別化出来ません。**高い目標に向かって、自社独自の設備を考案し競争力を強化する**事は重要なテーマとなります。

市販設備の組み合わせと比べると、設備開発を行うことは、機能・テスト機・生産性など考察する時間がかかるかかりますが、「コンセプトと目標」を明確にし、設備開発を推進したノウハウと経験により、**プロジェクト終了後、自前でライン構築出来る**ようになります。

表②

	市販設備の組み合わせ	設備開発
工程概要	「材料供給・部品供給・監視・検査・運搬・段取り・保全など」が、人の作業として残ることが多い	人と設備が共働した全体最適の競争力有るラインを構築することができる

記事を書いた人



伊藤 彰洋 (株)平山 コンサルティング事業本部 事業部長/現場改善コンサルタント

現場改善コンサルタントとして第一線で活躍中。国内外12か国以上、大中小多種多様な現場の改善を300社以上実施し、都度、現場の問題を解決してきた。生産管理システムを手掛けた経験により、営業～資材～生産管理

～製造～外注と工場内のあらゆるプロセスにおいて改善活動を実践する。また、現場の人間と共に改善活動を行い、現場改善の文化を企業に根付かせ、品質向上・生産性向上・リードタイム短縮を実現する。

実践編

生産現場レベルアップ研修

出張
開催



ムダを見つける目の醸成と改善力強化を養うための実践的なプログラム。生産現場での即時的な改善活動に直結する内容です。

開催形式

3回コース
(1回3h~4h)

日程

ご相談の上
決定

場所

貴社
指定場所



株式会社平山 コンサルティング事業本部 東京都港区港南一丁目8番40号
A-PLACE 品川6階 直通 080-5688-7960

お問合せ・詳細